



とうきょうと きたく かんせんしょうしゅうほう
東京都北区感染症週報

2023年第20週 (令和5年5月15日～令和5年5月21日)

東京都北区保健所 電話 03 (3919) 3102

【全数報告対象疾患】

※新型コロナウイルス(COVID-19)については、令和5年5月8日より定点把握対象疾患へと移行しています。

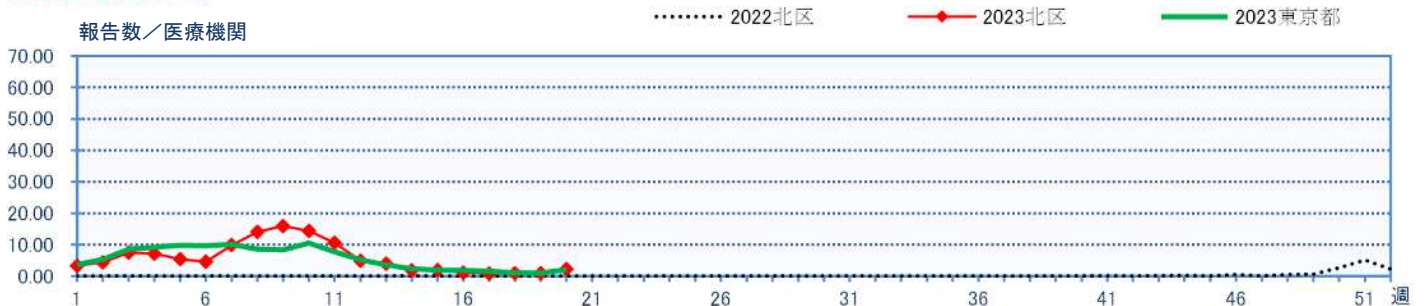
【定点把握対象疾患】

- 新型コロナウイルス(COVID-19) 北区内は58件、東京都全体の発生件数は1470件でした。
- 新型コロナウイルス(COVID-19)は都内の定点当たり報告数が3.53と増加しています。
- インフルエンザ 北区内は24件、東京都全体の発生件数は838件でした。
- インフルエンザは都内の定点当たり報告数が2.01と増加しています。

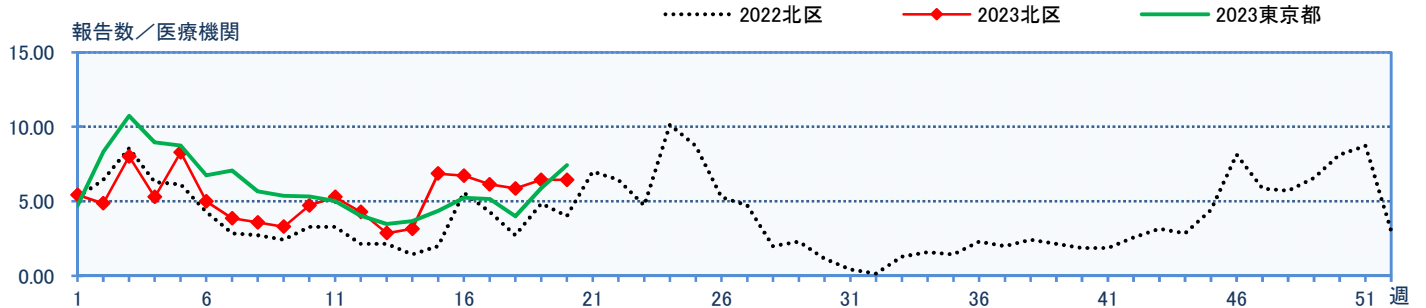
■新型コロナウイルス(COVID-19)



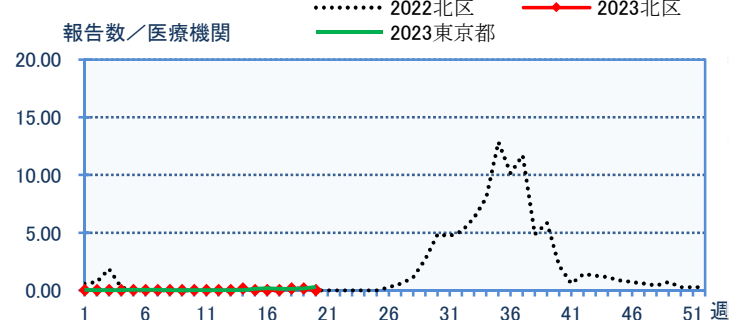
■インフルエンザ



■感染性胃腸炎



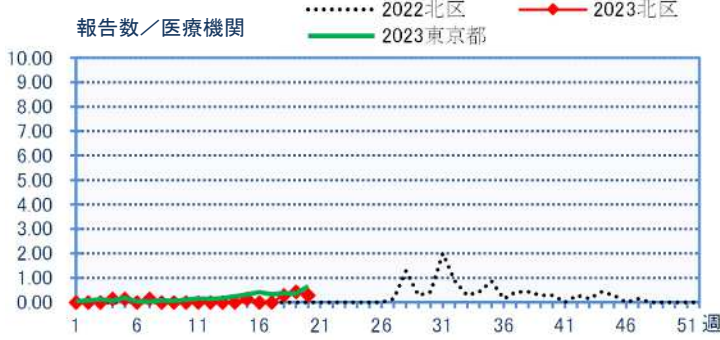
■手足口病



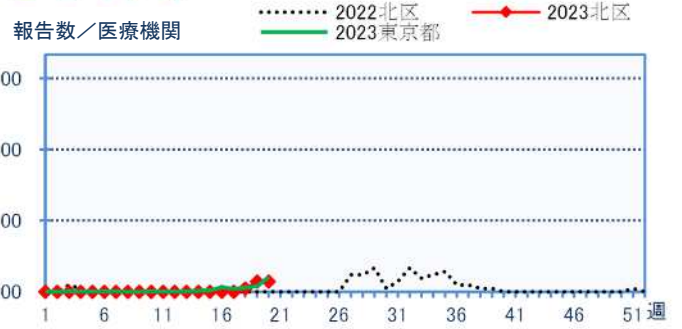
■A群溶血性レンサ球菌



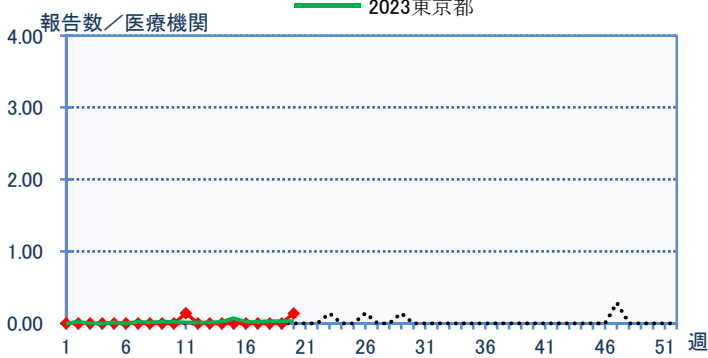
■RSウイルス感染症



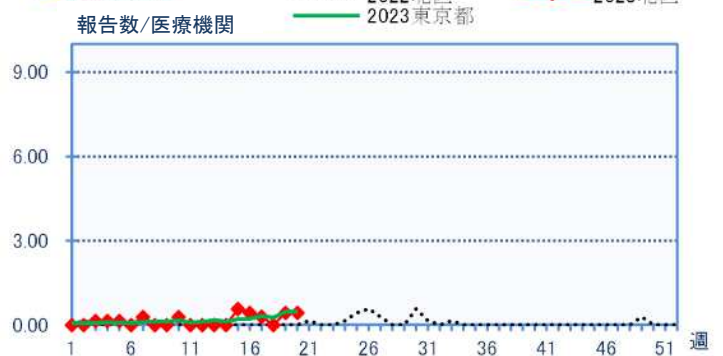
■ヘルパンギーナ



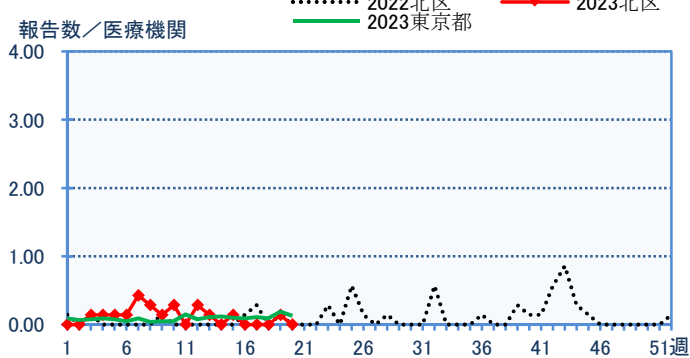
■伝染性紅斑



■咽頭結膜熱



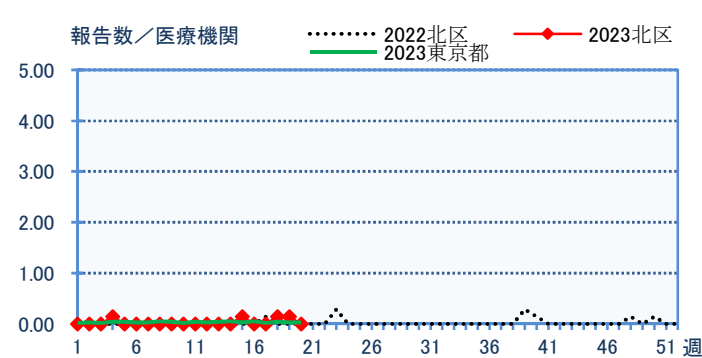
■水痘



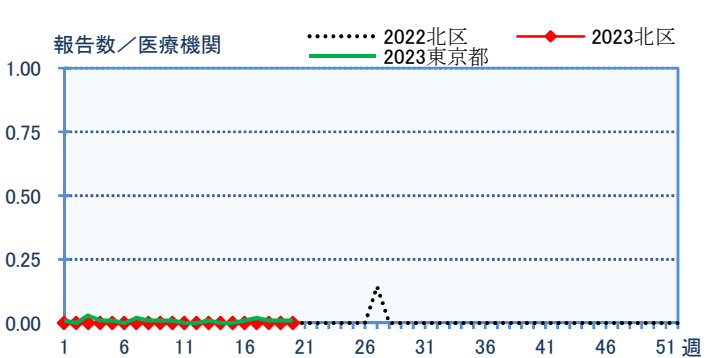
■突発性発しん



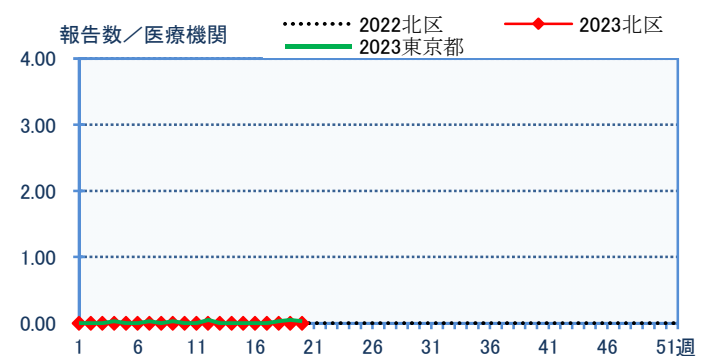
■流行性耳下腺炎



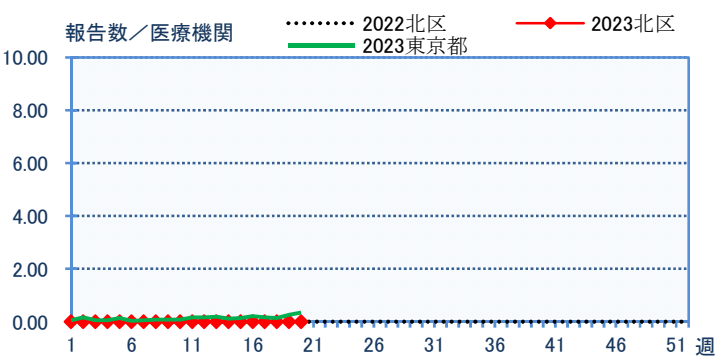
■川崎病



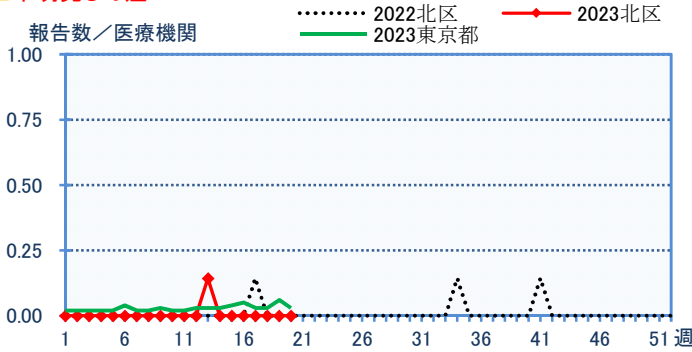
■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



■不明発しん症



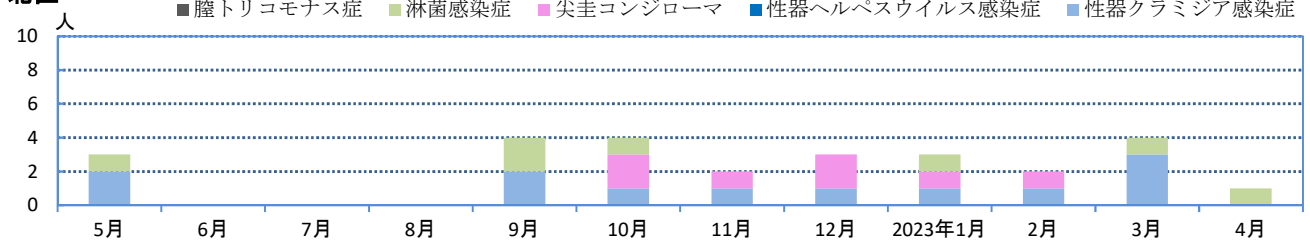
■性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

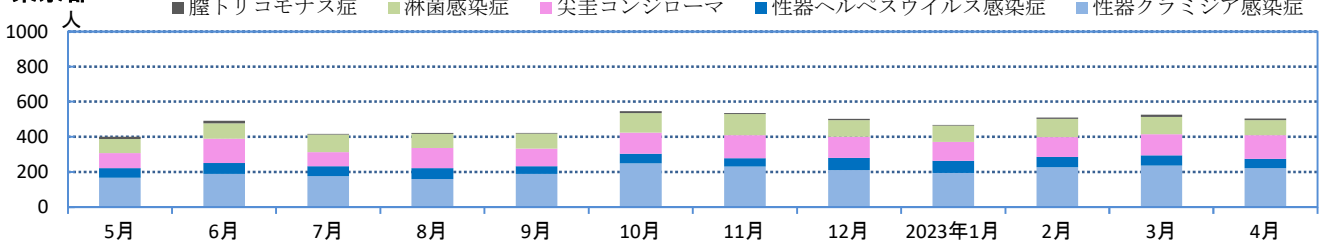
梅毒は、全数報告の感染症のため、本調査の対象になっていません。

※2023年5月分は2023年第23週号にて掲載予定です。

北区



東京都



■トピックス 感染性胃腸炎に注意しましょう

＜感染性胃腸炎とは＞

感染性胃腸炎とは、主にウイルスなどの微生物（ノロウイルス、ロタウイルスなど）を原因とする胃腸炎の総称です。秋から冬にかけて流行しますが、昨年北区では5月から6月にかけて特に流行しました。

＜感染経路＞

汚染された食品を食べることによる感染、ノロウイルスを含むふん便やおう吐物を処理した後、手についたウイルスや、不適切な処理で残ったウイルスによる感染などがあります。

＜症状＞

吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛などがあります。小児ではおう吐が、成人では下痢が多い傾向にあります。乳児ではけいれん発作や脱水を起こすことがあり、注意が必要です。

＜予防のポイント＞

- ・こまめな手洗いを習慣づけましょう。ノロウイルスなどはアルコールに抵抗性があるため、アルコールでの手指消毒だけでは予防効果がありません。しっかりと流水と石鹸を使用して手洗いをしましょう。
- ・おう吐物やふん便を処理するときは、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう。（症状軽快後も1か月以上便からウイルスが排出される場合もあります）

＜ロタウイルスワクチンについて＞

ロタウイルス感染症は乳幼児期にかかりやすく、初めて感染したときに嘔吐や下痢（白色便）など激しい症状が出ることが多いです。重い脱水症状が続くなど重症化することもあります。ワクチン接種でロタウイルス胃腸炎による入院患者を約70～90%減らすことができたとの報告もあります。ワクチン接種は令和2年10月1日から定期接種となったため、費用は無料です。

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページアドレス <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2020.html>

発行 北区保健所結核感染症係